

Only One



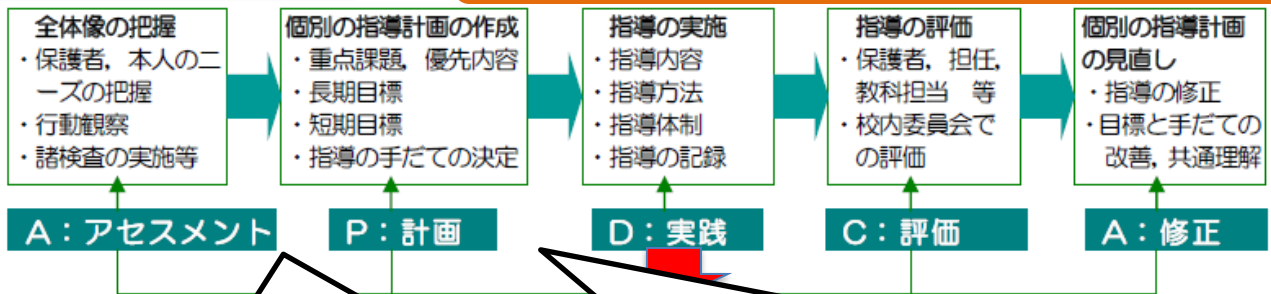
北総教育事務所 特別支援教育通信

令和4年9月号 No.2

感染症対策継続での教育活動にご苦労が多いと思います。そのような中、各園・学校に訪問させていただきありがとうございます。今年度作成した、個別の教育支援計画、個別の指導計画について見直してみてもいいでしょうか。作成後約3か月経過し、目標の達成状況、手立ての有効性を見直す時期となりました。状況に応じて目標を上方修正したり、手立てを変更したりして子どもの学びを深めていきましょう。

個別の指導計画のサイクル

作成後に実施、評価、改善を繰り返すことが最も重要です。



保護者と共通理解を早い時期に！

園・学校全体に関わる課題や具体的支援は全ての職員で共有！

計画の見直し

変更がある時は、随時加筆、修正を行う。

両計画はあくまで児童生徒等の教育的ニーズに対する支援や指導に関する関係機関との連携のためのツールであり、作成すること自体が目的ではありません。

見直しの際は、記録を基に目標の達成状況につながった支援内容及び妥当性等について検証を行い、具体的な支援内容の改善策を検討します。

こんな時は 変更が必要

- △なかなか変容が感じられない。
- 思ったよりも成長発達が早く計画以上にできるようになった。

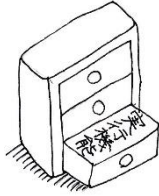


年度始めの目標設定は難しいものです。日々の授業、かかわりの中での様子から実態を捉え直すことが大切です。

実態把握が正確にできていたか？指導目標が適切だったか？

- ・実態が正確に捉えられていないときは…
→目標・課題を見直す。
△難しすぎたかも（スモールステップで見直し）
△できることを伸ばす視点で見直しが必要かも △手立てを見直してみる
- 簡単すぎたかも。適切な課題で適切な指導が行われていた成果。
- ・実態は正確に捉えて指導目標も適切だが変容があまり感じられないときは…
→授業の形態・教室環境・教師との人間関係・家庭の状況等を振り返る。

○引き出しを増やす



北総教育事務所特別支援アドバイザー
岩井隆典、正木恵子、林羊子

車いすに乗っている人を見ると「足に障害があるんだな。」ということがすぐに分り、「段差があるところはお手伝いが必要かもな。」と自然に支援・協力をイメージすることができます。困難さの背景が見えやすいからだと思います。しかし、我々の目の前の多くの子どもたちは、その困難さの背景が見えにくいです。

見えにくい困難さの背景を予想ながら見立て、教育的ニーズに応じた指導・支援を検討する力を高めるために、アドバイザーとして、(1) 特性理解の引き出しを増やす (2) 視点を明確にして、きめ細かく観察する (3) 直接観察できない様々な情報を収集する などを行っています。今回は、その中でも「(1) **特性理解の引き出しを増やす**」について、少しご紹介したいと思います。

例 **コマ遊びの邪魔をする子ども**・・・意地悪な子？自分はいうまく回せないから、八つ当たり？・・・

「**感覚の特異性**」ということについて知識があれば、「たくさんのコマが一斉に回っている様子や、みんなの歓声が、彼にとっては苦しい刺激だったのかも？」という予想も加わります。

※感覚の特異性とは、同じ刺激でも、敏感に感じたり、逆に感じにくかったりするなど、感覚の処理に特異性があるということです。

例 **言ったのに「言っていない！」と言う子ども**・・・嘘ついてる？ごまかしている？・・・

「**中枢性統合の弱さ**」「**心の理論の問題**」ということについての知識があれば、「様々な情報が含まれた状況の中で、枝葉末節な情報にとらわれて、本質的なことを捉えることが難しく、自分の言動についてのメタ認知もうまくいっていないのかも？『言っていない！』と言っても『そういうつもりではなかった。』ということは相手には伝わらないということがピンときていないのかな？」という予想も加わります。

※中枢性統合とは、様々な情報を関連付けて、全体的な意味をつかむ認知的傾向のことです。

※心の理論とは、他者の感じていることをリアルタイムで素早く正確に推測する能力のことです。

例 **期限までに課題が提出できない子ども**・・・怠けている？やる気が無い？

「**実行機能の問題**」ということについての知識があれば、「計画を立てることが困難、計画どおりに遂行することが困難、さらに『やる気が無い』のも、取組みを柔軟に切り替えることの困難さによるものかも？」という予想も加わります。

※実行機能とは、何かを完了させる脳の機能の総称です。



もちろん、いくつかの引き出しの中から、本当にその子どもの実態に合うものを選び出す（または組み合わせるなど）ためには、(2) 視点を明確にして、きめ細かく観察する (3) 直接観察できない様々な情報を収集する（子ども本人の感じていることも含めて）ことが欠かせません。「甘えている。努力が足りない。」というフィルターをかける前に、「**あれ？もしかすると・・・**」と予想を広げるための引き出しを増やしていきたいと心がけています。